

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

日本映画史横断②

歌謡・ミュージカル映画名作選

Cross-section of Japan's Cinematic Past [Part 2]

Song and Dance Tradition

1月5日(金) - 2月4日(日)

1月の休館日:

月曜日, 1月1日(月) - 4日(木)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

発券=2階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

●観覧券は当日・当該回にのみ有効です。

●発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。

●学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

●発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

日本映画史横断②

# 歌謡・ミュージカル映画 名作選



2007

1

NFCカレンダー  
2007年1月号

# 大ホール 上映作品

日本映画史横断②  
歌謡・ミュージカル映画  
名作選  
Cross-section of Japan's  
Cinematic Past [Part 2]  
Song and Dance Tradition

この2006年度、ジャンルや数々のテーマに沿って映画大日本が生み出した遺産への多彩な切り口を提供する新シリーズ「日本映画史横断」が、先の第1回企画「日活アクション映画の世界」とともに幕を開けました。それに引き続き、第2回の企画としてお送りするのがこの「歌謡・ミュージカル映画名作選」です。

レコードが普及して以来、日本でも数々の歌謡曲が時代ごとに国民の間で人気を博し、世相を彩ってきました。それは、20世紀最大の大衆娯楽となった映画産業の隆盛とも密接なつながりを持ち、トーキー・システムが導入されて以来、映画作品が流行歌を巷に送り出すだけでなく、歌の大ヒットが一本の映画を生み出すという幸せな関係に恵まれてきました。また、アメリカから流れ込んだ華麗なミュージカル映画に刺激されて、日本でも独自の音楽文化を踏まえたミュージカル作品の製作が試みられたことも特筆されるでしょう。

この特集では、榎本健一主演の音楽喜劇に代表されるトーキー黎明期を皮切りに、美空ひばりなどの国民的歌手が映画スターとしても人気を獲得した1950年代、クレイジーキャッツを主人公にしたコミカルな歌謡喜劇が大ヒットし、西洋のポップスを巧みに取り入れたグループ・サウンズ(GS)が映画に溶け込んだ1960年代を経由して、アイドル歌謡が本格的に成立した1970年代まで、日本の音楽映画の歴史の中から選ばれた27作品をお見せいたします。メロディとスクリーンが織りなす、時に情緒に満ちた、また時に華やかで心躍るコラボレーションの数々を心ゆくまでお楽しみいただければ幸いです。

■◎=監督 ◎=原作 ○=脚本・作 ●=撮影 ●=美術  
●=舞台装置 ●=音楽 ●=出演  
■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

## 1 1/5(金)3:00pm 1/20(土)4:00pm

### 音楽喜劇 ほろよひ人生 (77分・35mm・白黒)

東宝の前身である写真科学研究所(P.C.L.)の記念すべき第1回作品で、トーキーを旗印にした同社を特徴づけるべく、ジャズ色を前面に出した明朗な一本である。経営者の植村澄三郎が大日本麦酒の重役でもあったことから自社ビールの宣伝を兼ねて製作されたもので、幸つた批評で知られる音楽学者・兼常清佐の起用にも、新時代の映画に対する意気込みが感じられる。

◎33(写真科学研究所)◎木村莊十二◎松崎啓次◎鈴木博◎山崎醇之輔◎兼常清佐、紙恭輔、奥田良三◎徳川夢声、大川平八郎、藤原釜足、千葉早智子、神田千鶴子、堤真佐子、古川緑波、大辻司郎、横尾泥海男、吉谷久雄、関時男、中根竜太郎、丸山定夫、間英子、双葉芳子

## 2 1/5(金)7:00pm 1/21(日)1:00pm

### 東京ラブソディ(68分・35mm・白黒)

1930年代半ば、「丘を越えて」などの明るい流行歌を生み出してティンク歌謡曲の黄金時代を形作った「古賀メロディ」。その代表作である「東京ラブソディ」をP.C.L.が映画にしたこの作品は、曲を歌った藤山一郎が演じる洗濯屋の青年と、タバコ屋の看板娘の恋を軽快に綴り、やがて歌と踊りの大団円を迎える。西銀座を舞台に、「楽し都 恋の都…」と歌われた東京を謳歌する青春物語となった。

◎36(P.C.L.映画製作所)◎伏水修◎佐伯孝夫◎永見隆二◎三村明◎戸塚正夫◎古賀政男◎藤山一郎、橋澄枝、星玲子、井深四郎、宮野照子、伊達里子、御橋公、千葉早智子、竹久千恵子、堤真佐子、神田千鶴子、山縣直代、梅園龍子、藤原釜足、岸井明

## 3 1/6(土)1:00pm 1/23(火)3:00pm

### エノケンのちゃっきり金太[総集篇] (72分・35mm・白黒)

浅草演劇の寵児・榎本健一は、同志・山本嘉次郎の監督起用に条件にP.C.L.と契約、長年の夢だった音楽喜劇映画に出演した。本作は、財布ばかりか密書まで盗んでしまった中着切りが侍につけ狙われるという追っかけ喜劇で、歌とアクションがテンポよく繰り広げられる。弟子の井崎博之によれば、この版は公開時の前篇・後篇に『エノケンのざんざり金太』(1940年)を加えて大幅に編集した版だという。

◎37(P.C.L.映画製作所)◎山本嘉次郎◎唐沢弘光◎北猛夫◎栗原重一◎榎本健一、中村是好、二村定一、柳田貞一、市川圭子、花鳥喜世子、山縣直代、如月寛多、千川輝美、宏川光子

## 4 1/6(土)4:00pm 1/24(水)7:00pm

### 純情二重奏[総集篇](72分・35mm・白黒)

声楽家になる夢を抱いた新進歌手役の高峰三枝子、彼女と異母姉妹の関係にあるライバルの木暮実千代、さらにコロムビア所属の人気歌手陣も総出演した歌謡メロドラマの大ヒット作。監督の佐々木康は、あらかじめ録音された音楽をスピーカーで流しながら撮影するブレイバックの技法を駆使し、「私が持つブレイバックのテクニックをすべて発揮して、いわば命がけて撮った」と述懐している。

◎39(松竹大船)◎佐々木康◎斎藤良輔、長瀬喜伴◎野村晃、寺尾清◎万城目正、仁他喜雄◎高峰三枝子、吉川満子、横山準、斎藤達雄、岡村文子、木暮実千代、細川俊夫、松原操、伊藤久男、淡谷のり子、志村道夫、毛塚守彦、中野忠晴、大山健二、松平晃、山内光、鈴木芳枝、坂本武、霧島昇、森川まさみ、近衛敏明

## 5 1/7(日)1:00pm 1/23(火)7:00pm

### 鷺鷥歌合戦(69分・35mm・白黒)

マキノ正博のきびきびした演出とあいまって、近年はカルト的な人気も得ている時代劇オパレックの傑作だが、片岡千恵蔵が盲腸炎にかかったための穴埋めとして急遽製作が決まった作品である。ディック・ミネの歌う「僕は若い殿様…」をはじめ、口ずさみやすいメロディが随所に散りばめられており、志村喬の美声には歌手デビューの声さえかかったとも言われる。

◎39(日活京都)◎マキノ正博◎江戸川浩二◎宮川一夫◎長谷川繁吉◎大久保徳二郎◎片岡千恵蔵、香川良介、志村喬、ディック・ミネ、服部富子、市川春代、深木藤子、遠山満、尾上華文、石川秀道、橋本三郎、近松竜太郎、福井松之助、富士咲美

## 6 1/7(日)4:00pm 1/24(水)3:00pm

### 支那の夜[前後篇](126分・35mm・白黒)

日中戦争のさなか、甘い語り口の中に両国の「結びつき」を強調した国策歌謡映画で、前年の『白蘭の歌』に続き、長谷川一夫と李香蘭の恋物語が軸になっている。主題歌「支那の夜」と「蘇州夜曲」は映画では李香蘭が歌ったが、レコードでは、中国趣味あふれる曲を得意とする渡辺はま子がヒットさせた。前者は太平洋戦争中に対米放送で盛んに流され、アメリカ兵にも知られるようになった。

◎40(東宝東京)◎伏水修◎小國英雄◎三村明◎松山崇◎服部良一◎長谷川一夫、李香蘭(山口淑子)、藤原鶏太、服部富子、汐見洋、御橋公、嵯峨善兵、藤輪敏司、鬼頭善一郎、長島武夫、小高たかし、今成平九郎、清川玉枝

## 7 1/9(火)3:00pm 1/25(木)7:00pm

### そよかぜ(60分・35mm・白黒)

劇場の照明係で歌手志望の娘が、仲間たちの応援を受けてデビューし、スターを目指すというサクセス・ストーリー。劇中で明るく歌われる、松竹歌劇団出身の並木路子による「リンゴの歌」は、敗戦後の虚脱した世情の中で暖かく受け入れられた。戦後のヒット曲第1号となったが、サトー・ハチローがこれを作詩したのはまだ戦争の最中だったという。

◎45(松竹大船)◎佐々木康◎岩澤庸徳◎寺尾清◎本木勇◎萬城目正◎上原謙、佐野周二、斎藤達雄、高倉彰、奈良真貴、伊東光一、加藤清一(精一)、並木路子、波多美喜子、若水絹子、三浦光子、霧島昇、二葉あき子

## 8 1/9(火)7:00pm 1/21(日)4:00pm

### 舗道の囁き(84分・35mm・白黒)

戦前期トップ・ダンスの第一人者中川三郎と、米国の日系二世のジャズ歌手ベティ稲田を主演にしたミュージカル映画。悪徳興行師に捨てられた歌手と、彼女に救いの手を差し伸べる青年を軸にした物語を、往年の青春スター鈴木伝明が演出するとともに出演した。1936年に製作されたから公開は戦後となり、1996年にアメリカで発見されるまでフィルムは行方不明とされていた。

◎46(加賀プラザズプロ)◎鈴木傳明◎稲津延一(延一)◎山中真男◎小池一美◎渡辺良◎ベティ稲田、中川三郎、関時男、花房銀子、由利健次、中野英治、高橋義信

## 9 1/10(水)3:00pm 1/27(土)1:00pm

### 東京キッド(81分・35mm・白黒)

13歳の美空ひばりがおききんな靴みがきの少女に扮し、生き別れの父娘の再会を描くが、結局は斎藤寅次郎流のドタバタ喜劇である。ひばりのためにギターを弾くのは彼女のスターへの道を準備した元「あきたたぼういず」の川田晴久で、他にも当時の人気コメディアンが多数出演した。「美空ひばり来朝第一作」と銘打たれ、ますますひばり人気を沸騰させた記念碑的作品。

◎50(松竹大船)◎斎藤寅次郎◎長瀬喜伴◎伏見晃◎長岡博之◎浜田辰雄◎万城目正◎美空ひばり、川田晴久、堺駿二、高杉妙子、西條鮎子、花菱アチャコ、榎本健一

## 10 1/10(水)7:00pm 1/25(木)3:00pm

### ロマンス娘(97分・35mm・カラー)

『ジャンケン娘』に続き、ひばり・チエミ・いづみの“三人娘”が主演する明朗なミュージカル。3人は、同級生である寿司屋の娘、パン屋の娘、花屋の娘に扮し、夏休みの自転車旅行のためにデパートでのアルバイトに励むが…。前作と同じ3人が“三人娘”のレビューを観るという趣向があるほか、全体を通して柳生悦子による華やかな衣裳デザインも楽しめる。

◎56(東宝)◎杉江敏男◎井手俊郎◎完倉泰一◎村木忍◎神津善行◎美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ、森久久弥、宝田明、井上大助、江原達也、花井蘭子、藤原釜足、小杉義男、清川玉枝、飯田蝶子、三好栄子

## 11 1/11(木)3:00pm 1/26(金)7:00pm

### 初春狸御殿(83分・35mm・カラー)

宮城千賀子主演の新興キネマ作品『狸御殿』(1939年)に源を発し、戦後に復活した大映の名物オパレック連作『狸御殿』シリーズ。ここでは大映の新人スター、市川雷蔵(=狸吉郎)、若尾文子(=きぬた娘ほか2役)を主演に、葉売り役の勝新太郎も初々しく歌声を披露している。シネマスコープに極彩色の画面作りがとことん享乐的な気分を盛り上げる正月映画である。

◎59(大映京都)◎木村恵吾◎今井ひろし◎上里義三、西岡善信◎吉田正◎市川雷蔵、若尾文子、勝新太郎、中村玉緒、近藤美恵子、仁木多鶴子、金田一敦子、中村錦治郎、菅井一郎、水谷良重、楠トシエ、トニー谷、和田弘とマヒナスターズ

## 12 1/11(木)7:00pm 1/27(土)4:00pm

### 嵐を呼ぶ楽団(108分・35mm・カラー)

ジャズに賭けた男たちの友情や苦悩をスピーディな演奏とともに描く青春群像劇で、本格的なバンドを結成しようとする熱血漢(宝田)の周りに続々とミュージシャンたちが集まっていく。娯楽映画に傑出した力を見せる井上梅次監督のフリーランス第1回作品で、夜の温泉町の路上で、トランベッター(高島)と流しのギター弾き(水原)が音楽対決をするシーンも見所である。

◎60(宝塚映画)◎井上梅次◎若尾徳平◎岡崎宏三◎鳥塚塚誠◎多忠修、河辺公一◎宝田明、高島忠夫、雪村いづみ、朝丘雪路、神戸一郎、水原良一、柳沢真一、江原達也、環三千世、水戸光子



ロマンス娘

13 1/12(金)3:00pm 1/28(日)1:00pm

香港の夜(118分・35mm・カラー)

東宝が香港の製作会社キャセイと組み、二枚目・宝田明と“香港の宝石”とも称された尤敏を主役に起用した「香港3部作」の第1作。甘口の恋愛メロドラマであり、歌が中心の作品ではないが、主題歌「香港の夜」がロマンティックな空気を醸し出す。だが、二人の恋が成就せずに男が亡くなってしまったのは、同じく香港を舞台にしたアメリカ映画『慕情』(1955年)を思わせる。

’61(東宝=キャセイ・オーガニゼーション)◎千葉泰樹◎井手俊郎◎西垣六郎◎河東安英 費伯夷◎松井八郎◎宝田明、尤敏、草笛光子、司葉子、浜美枝、木暮実千代、馬力、王引、金伯健、中村哲、藤木悠、小泉博、加東大介、上原謙

14 1/12(金)7:00pm 2/3(土)1:00pm

乾杯! ござげん野郎(90分・35mm・白黒)

はるばる九州から東京に上ってきた男性コーラス・グループが、有名になろうとハチャメチャ売り込みをかけてというミュージカル・コメディ。後に喜劇監督として数々の秀作を送り出す瀬川昌治の初期作品で、梅宮辰夫がグループの歌声はすべてデューク・エイセスが吹き替えている。ニュー東映は、量産路線をとった東映が低予算作品を送り出すための拠点だったが、短命に終わった。

’61(ニュー東映東京)◎瀬川昌治◎井手雅人◎田中義信◎北川弘◎松井八郎◎梅宮辰夫、南廣、今井俊二、世志凡太、東野英治郎、高橋とよ、山中みゆき、三田佳子、杉義一、八代万智子、榎本健一

15 1/13(土)1:00pm 1/26(金)3:00pm

銀座の恋の物語(93分・35mm・カラー)

しががないピアノ弾き(藤尾)と屋根裏部屋で同居している売れない画家(石原)が、洋服店で働く薄幸の娘(浅丘)との間に恋を育むが…。裕次郎、旭など、日活の男性スターは歌手としての能力も要求されており、主題歌の歌手も兼ねることが通常であった。のちに男女デュエット曲の定番となったこのメロディ、もともとは「街から街へつむじ風」(松尾昭典監督)の挿入歌だった。

’62(日活)◎藏原惟繕◎山田信夫、熊井啓◎間宮義雄◎松山崇◎鑄木創◎石原裕次郎、浅丘ルリ子、江利チエミ、ジェリー藤尾、和泉雅子、清川虹子、清水将夫、牧村旬子、深江章喜、高品格、井上昭文

16 1/13(土)4:00pm 1/30(火)3:00pm

ニッポン無責任野郎(86分・35mm・カラー)

クレイジーキャッツ主演の『ニッポン無責任時代』が予想以上のヒットとなった東宝が、正月映画として急遽製作した続篇。楽器会社の社員を演じた植木等は前作以上に屈託なく暴れ回り、“無責任男”としての頂点とも評される。クレイジーキャッツには青島幸男=萩原哲晶のコンビによる数々の名曲があるが、ここではテーマ曲「無責任一代男」のほか、新婚旅行のシーンでは「これが男の生きる道」などを披露。

’62(東宝)◎古沢憲吾◎田波靖男、松木ひろし◎飯村正◎小川一男◎宮川泰◎植木等、団玲子、ハナ肇、草笛光子、谷啓、浦辺条子、藤山陽子、由利徹、大塚弘、桜井センリ、安田伸、人見明、中北千枝子

17 1/14(日)1:00pm 1/30(火)7:00pm

アスファルト・ガール

(88分・35mm・カラー)

大映撮影所で音楽映画を多く手がけた高橋二によるミュージカル作品で、観光ガイドとブラジル婦のコーヒ一園経営者とのロマンスを綴るが、ヘンリー・キング監督『回転木馬』(1955年)の振付家ロッド・アレクサンダーを招聘したことも特筆される。東宝の異色ミュージカル『ああ爆弾』と同日公開となったが、他にも1964年には『君は出世ができる』も発表され、ミュージカル映画の実りの年となった。

’64(大映東京)◎島耕二◎舟橋和郎◎小原譲治◎下河原友太郎◎平岡精二、前田憲男◎中田康子、岩村信雄、坂本博士、原田信夫、原健、西条公彦、織田功三、平野弘、西村賀津也、尾藤イサオ

18 1/14(日)4:00pm 2/2(金)3:00pm

君も出世ができる(100分・35mm・カラー)

日本の音楽映画史に残る秀作として、再評価の機運も高い本格的な和製ミュージカル。須川栄三監督は事前に本場アメリカのミュージカルを視察して撮影に臨み、とりわけビル街に400名を動員したというサラリーマンのシーンが圧巻である。また、雪村いづみの歌う“アメリカでは…”や高島忠夫の“タクラカン…”など、谷川俊太郎作詞・黛敏郎作曲による挿入歌の数々も笑いを誘う。

’64(東宝)◎須川栄三◎笠原良三、井手俊郎◎内海正治◎村木忍、竹中和雄◎黛敏郎◎高島忠夫、フランキー堺、雪村いづみ、益田喜頓、浜美枝、中尾ミエ、有島一郎、藤村有弘、十朱久雄、立原博、沢村いさ雄、ジュリー伊藤

19 1/16(火)3:00pm 1/28(日)4:00pm

ホラ吹き太閤記(98分・35mm・カラー)

クレイジーキャッツの映画としては初の時代劇だが、前年の『日本一のホラ吹き男』の翻案であり、「サラリーマン喜劇」的に木下藤吉郎の出世が描かれている。古沢監督は張り切って撮影現場に陣笠姿で乗り込んだとも言われ、また桶狭間の合戦シーンにヘリコプター撮影を導入したことを稲垣浩監督に批判されたという逸話もある。楽曲としては、冒頭とラストの「だまって俺について来い」が印象深い。

’64(東宝)◎古沢憲吾◎笠原良三◎西垣六郎◎北猛夫◎宮川泰、萩原哲晶◎植木等、ハナ肇、谷啓、浜美枝、藤山陽子、草笛光子、有島一郎、藤木悠、東野英治郎、藤田進、人見明、青島幸男、大友伸

20 1/16(火)7:00pm 2/1(木)3:00pm

恋と涙の太陽(89分・35mm・カラー)

舟木一夫、西郷輝彦とともに元祖“御三家”の一角をなし、ラテン音楽のリズムを取り入れた「リズム歌謡」でたちまち人気者となった橋幸夫。その大ヒット曲をベースに娯楽映画のベテラン井上梅次が演出した作品で、水上スキーやキャンプでにぎわう富士五湖を舞台に、パイロット(橋)と女医(幸夫)の恋物語が繰り上げられる。途中の歌謡祭のシーンではもちろん橋の熱唱も見られる。

’66(松竹)◎井上梅次◎立花明◎長岡博之◎芳野尹孝◎広瀬健次郎◎橋幸夫、倍賞千恵子、香山美子、早瀬久美、柳沢真一、初美美香、山東昭子、村田知栄子、待田京介、立原博

21 1/17(水)3:00pm 2/1(木)7:00pm

夢は夜ひらく(81分・35mm・カラー)

中尾ミエ、伊東ゆかりとともに“スパーク三人娘”とも呼ばれ、ムード歌謡で一世を風靡した歌手・園まりの主演作。当時、ヒット曲をモチーフにして製作された作品は多いが、ここでは死んだ兄の遺産を届けにきた男(高橋)とクラブ歌手(園)をめぐる純愛譚になっている。同じ渡辺プロの奥村チヨや布施明が歌を披露するほか、コメディ・リリーフとして若さザ・ドリフターズの面々も顔を出す。

’67(日活)◎野口晴康◎才賀明、中野彰◎上田宗男◎小池一美◎宮川泰◎園まり、渡哲也、高橋英樹、山本陽子、見明凡太郎、名古屋章、奥村チヨ、布施明、加藤茶、いかりや長介、高木ブー、荒井注、仲本工事

22 1/17(水)7:00pm 2/4(日)1:00pm

ザ・スパイダースの 大進撃

(82分・35mm・カラー)

1965年にデビューし、「夕陽が泣いている」など数々のヒット曲に恵まれたザ・スパイダースは、グループ名を冠した映画が4作品と最も多いグループ・サウンズ(GS)のバンドでもある。この作品は2作目で、謎のタンバリンを手に入れた堺正章が怪しい組織に狙われるという。メンバーのかまやつひろしは、ビートルズの『HELP!』4人はアイドル(1965年)に強クインスバヤされた映画だと後に語っている。

’68(日活)◎中平康◎伊奈洗、倉本聰◎北泉成◎松井敏行◎脇野光司、かまやつひろし◎田辺昭知、堺正章、井上順、かまやつひろし、加藤充、大野克夫、井上孝之、波多野憲、和泉雅子、真理アンス、植村謙二郎、柳瀬志郎

23 1/18(木)3:00pm 2/2(金)7:00pm

帰って来たヨッパライ(80分・35mm・カラー)

フォーク・クルセダーズのヒット曲を題名にし、不条理に巻き込まれる3人の学生を彼ら自身に演じさせた大島渚の異色作。日本人と韓国人との自己同一性のあやふやさや繰り返しの物騒が一度元に戻ってしまう大胆な構造にも驚かされる。クルセダーズが次のシングル曲に予定していたが発売中止となった「イムジン河」も3人によって歌われている。

’68(創造社)◎大島渚◎田村孟、佐々木守、足立正生◎吉岡康弘◎戸田重昌◎林光◎加藤和彦、北山修、端田宜彦(はしだのりひこ)、佐藤慶、緑野子、渡辺文雄、小松方正、殿山泰司、足立正生、車大善、上野堯

24 1/18(木)7:00pm 2/4(日)4:00pm

世界はボクらを待っている

(87分・35mm・カラー)

GSブームの頂点に立ったザ・タイガースが初主演した荒唐無稽なSFファンタジー。彼らのサウンドに音波を乱されて地球に不時着したアンドロメダ星の女王(久美)と、グループの人気者ジュリー(沢田)が恋におちるが、熱狂的な女性ファンがそれを許さない…。『僕のマリー』『シーサイド・バウンド』などのヒット曲も満載、東宝の伝統である特撮技術も活かされたGS映画の代表作。

’68(東宝=渡辺プロ)◎和田嘉訓◎田波靖男◎長谷川清◎育野重一◎森岡賢一郎、すぎやまこういち◎岸部おさみ(一徳)、沢田研二、森本太郎、加橋かつみ、睡みのる、久美かおり、小橋玲子、高橋厚子、美穂くるり、松本めぐみ

25 1/19(金)3:00pm 2/3(土)4:00pm

恋の大冒険(93分・35mm・カラー)

恋を求めて憧れの東京にやってきた少女に巻き起こる騒動を描いたスラップスティック風のミュージカル・コメディで、少女を演じたのは“ピンキーとキラーズ”の今陽子。前田武彦の演じる悪徳社長をはじめ、男優陣にも一風変わった芸達者が並んでいる。現在は映画評論家として活躍する山田宏一、渡辺武信が脚本を執筆しており、和田誠の描くカバのアニメーションも見られる。

’70(オールスタッフ・プロ=テアトル・プロ)◎◎羽仁進◎山田宏一、渡辺武信◎奥村祐治◎和田誠◎かみいずみ◎今陽子、佐良直美、由紀さおり、大矢茂、前田武彦、土居まさる、左ト全、藤村有弘、多々良純、松山省二

26 1/19(金)7:00pm 1/31(水)3:00pm

夜の歌謡シリーズ なみだ恋

(73分・35mm・カラー)

時代のヒット歌謡を織り交ぜて、1968年に始まった「夜の歌謡」シリーズ。この作品は八代亜紀の曲「なみだ恋」から着想され、母親の経営するスナックで働きながら純真さを守り続けるホステス(中島)と、逃亡中のやくざ(谷)とのほかない恋を描いている。ホステス役の中島ゆたかはこの作品が映画初主演、その後は東映のアクション映画にも彩りを添えた。

’73(東映東京)◎斎藤武市◎成澤昌茂◎山沢義一◎三井祥示◎小杉太一◎中島ゆたか、谷隼人、奈良あけみ、佐々木功、殿山泰司、須賀不二男、片山由美子

27 1/20(土)1:00pm 1/31(水)7:00pm

急げ! 若者(85分・35mm・カラー)

ジャニーズ事務所の人気4人組フォー・リーブスを主演に、孤児院を出た少年たちがスターの座をつかむまでの苦い経験を描く青春映画。1970年代にはGSの退潮とともにアイドル歌謡が隆盛を迎え、男性アイドルの中ではダンスと歌を華麗に織り交ぜたフォー・リーブスが絶大な人気を誇った。当時人気上昇中の郷ひろみも、4人を助ける仲間として好演している。

’74(東宝=ジャック・プロ)◎小谷承靖◎田波靖男◎上田正治◎藤谷和夫◎広瀬健次郎◎北公次、おりも政夫、江木俊夫、青山孝、郷ひろみ、日色ともゑ、岡田真澄、島かおり、藤木悠、青木英美、佐原健二、ジャニーズ・ジュニア



恋の大冒険

月	火	水	木	金	土	日							
1月	1 休館	2	3 休館	4 休館	5 3:00pm 1 音楽喜劇 ほろよび人生 (77分)	6 1:00pm 3 エノケンのちゃっつきり金太 (72分)	7 1:00pm 5 鷺鷥歌合戦 (69分)						
	7 3:00pm 7 そよかぜ (60分)	8 7:00pm 8 舗道の囁き (84分)	9 3:00pm 9 東京キッド (81分)	10 7:00pm 10 ロマンズ娘 (97分)	11 3:00pm 11 初春狸御殿 (83分)	12 7:00pm 12 嵐を呼ぶ楽団 (108分)	13 3:00pm 13 香港の夜 (118分)	14 7:00pm 14 乾杯! ごきげん野郎 (90分)	15 3:00pm 15 銀座の恋の物語 (93分)	16 4:00pm 16 ニッポン無責任野郎 (86分)	17 1:00pm 17 アスファルト・ガール (88分)	18 4:00pm 18 君も出世ができる (100分)	
	19 3:00pm 19 ホラ吹き太閤記 (98分)	20 7:00pm 20 恋と涙の太陽 (89分)	21 3:00pm 21 夢は夜ひらく (81分)	22 7:00pm 22 ザ・スパイダースの大進撃 (82分)	23 3:00pm 23 帰って来たヨッパライ (80分)	24 7:00pm 24 世界はボくらを待っている (87分)	25 3:00pm 25 恋の大冒険 (93分)	26 7:00pm 26 夜の歌謡シリーズ なみだ恋 (73分)	27 1:00pm 27 急げ! 若者 (85分)	28 4:00pm 1 音楽喜劇 ほろよび人生 (77分)	29 1:00pm 2 東京ラプソディ (68分)	30 4:00pm 8 舗道の囁き (84分)	31 4:00pm 8 舗道の囁き (84分)
	3 3:00pm 3 エノケンのちゃっつきり金太 (72分)	4 7:00pm 5 鷺鷥歌合戦 (69分)	5 3:00pm 6 支那の夜 (126分)	6 7:00pm 4 純情二重奏 (72分)	7 3:00pm 10 ロマンズ娘 (97分)	8 7:00pm 7 そよかぜ (60分)	9 3:00pm 15 銀座の恋の物語 (93分)	10 7:00pm 11 初春狸御殿 (83分)	11 1:00pm 9 東京キッド (81分)	12 4:00pm 12 嵐を呼ぶ楽団 (108分)	13 1:00pm 13 香港の夜 (118分)	14 7:00pm 19 ホラ吹き太閤記 (98分)	15 4:00pm 19 ホラ吹き太閤記 (98分)
	16 3:00pm 16 ニッポン無責任野郎 (86分)	17 7:00pm 17 アスファルト・ガール (88分)	18 3:00pm 26 夜の歌謡シリーズ なみだ恋 (73分)	19 7:00pm 27 急げ! 若者 (85分)	20 3:00pm 20 恋と涙の太陽 (89分)	21 7:00pm 21 夢は夜ひらく (81分)	22 3:00pm 18 君も出世ができる (100分)	23 7:00pm 23 帰って来たヨッパライ (80分)	24 1:00pm 14 乾杯! ごきげん野郎 (90分)	25 4:00pm 25 恋の大冒険 (93分)	26 1:00pm 22 ザ・スパイダースの大進撃 (82分)	27 4:00pm 24 世界はボくらを待っている (87分)	28 4:00pm 24 世界はボくらを待っている (87分)
	29 17 アスファルト・ガール (88分)	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

展示室(7階)

【企画展】

生誕110周年記念  
衣笠貞之助の世界

Teinosuke Kinugasa: From Female Impersonator to Master Filmmaker

初期の女形から映画監督に転身、サイレント時代の実験映画『狂った一頁』(1926)から林長二郎主演の時代劇、戦後のカンヌ映画祭グランプリ作品『地獄門』(1953)まで幅広い業績を残した衣笠貞之助(1896~1982)。その遺品を通して、日本映画が誇る巨匠の足跡をたどります。

【常設展】

展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —  
フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい初期の映画機械や映画人の遺品などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

10月3日(水)~11月16日(水)、11月18日(金)~12月27日(水)、  
2007年1月5日(金)~3月31日(金)

開室=休館日以外の火曜日-日曜日

(午前11時~午後6時30分/入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/

大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円)/

中学生以下・障害者(付添者は原則1名まで)は無料

\*料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料も含まれます。

\* ( )内は20名以上の団体料金です。

\*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示下さい。

\*フィルムセンターの企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

図書室カレンダー

赤字は休室日

1月

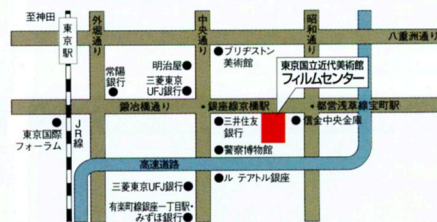
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

図書室(4階) 開室=休館日以外の火曜日-土曜日  
(午後0時30分~午後6時30分/入室は午後6時まで)

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

